

＜公開授業2＞ ※授業の約10分前にちょっとしたアトラクション・ビデオを上映します。

## 「基礎基本の徹底から表現活動へ～音読から発展的言語活動へ～」（3年生）

授業者 肥沼 則明

### 1 本授業のねらい

授業はある程度の中・長期的スパンの中で行われるものですので、本時のみのねらいを明確にすることは簡単ではありませんが、他の授業との関連も含めて考えると以下のとおりです。

- (1) 授業全体をとおしてコミュニケーションしようとする態度を育成するとともに、「話すこと」「聞くこと」を中心とした4技能の力を統合的に伸ばす。
- (2) 既習事項の定着を図るとともに、音読活動をとおして表現する力を伸ばす。
- (3) 教科書の題材に関連した発展的教材をとおして題材に対する理解を深めさせる。

また、これは授業者の公開授業に対するこだわりですが、ここ数年（平成16年より）は地道な日々の活動をそのまま見せることで、日頃の授業で何を指導するのが大切なのかという議論のネタを提供することに主眼を置いて公開授業の内容を構成するようにしています。したがって、今回もその授業内で学習内容が完結するものではなく、中期的な授業計画における指導の流れの一部をお見せするように指導過程を考えてあります。なお、今回は「読むこと」が授業の中心になっているので、毎回お見せしているような生徒同士の「話すこと」の活動は意図的に入れてありません。

### 2 本授業の構成

本時の授業は、次の3つの大きなパートで構成されています。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>① 前時に学習した重要表現（関係代名詞）や本文内容の定着を図る口頭練習</li><li>② 表現することの楽しさを感じさせ、本文の内容を深く脳裏に刻み込む表現音読</li><li>③ 教科書の題材に対する生徒の気持ちを高揚させる発展的教材の導入</li></ol> |
|--|

①は、平素の授業で1年次から継続的に行っているものです。前時に学習した内容の要点を確認して理解を深め、本時の内容の導入につなげる時間と考えています。

②は、「きちんと読めることが、きちんと話せることにつながる」という本校英語科の音読に対するスタンスを貫いている部分です（本校では、音読は「話すこと」に分類しています）。個々の音、リズム、場面に応じた抑揚の付け方などを継続的に指導する中で、伝えようとする気持ちを表現できるようにさせることをねらった指導です。こうして鍛えた音読力は、全学年共通で毎長期休業後の授業中に行う「リーディング・ショー」（音読テスト）という活動をとおして評価しています。それを今回は教科書題材の関連教材を利用して発表させる活動にしようとして企画しました。

③は、単に教科書本文の内容を理解し音読して終わりとならないようにするものです。特に社会的、文化的色合いの濃い内容のときには、関連する教材を提供して題材に関するより深い理解をさせるように工夫をしています。今回は地雷廃絶運動に取り組んでいる主人公の話なので、地雷廃絶を含めて世界平和のために働いている他の人々のことを取り上げ、さらにそれを生徒自身ができることにつながるように考えてみました。

### 3 資料

資料は本時で生徒が使うもののほか、本課でこれまで指導してきたことがわかるものを用意しました。また、最後には自分が3年間続けている「終礼の話」の一部を載せました。英語の授業以外で担任クラスの生徒とどのように関わってきたかをご理解いただけるものと思います。